

一 喝 談

陳 舜 臣
え・中 西 勝



暑いので今月は対談をお休みにして、筆まかせに肩のこらない話を書いてみようと思う。執筆者のヴァカンスとおゆるし願いたい。同業にM君という推理作家がいる。快男子である。彼の長篇小説が某映画会社の評判のよかった映画の盗作呼ばわりにされ、大いにイカって訴訟をおこしたことは、新聞紙上でご存知の方も多いだろう。実際、彼の小説は例の映画より先であり、盗作などというのはカツドオ屋の無神経な宣伝政策にすぎない。

そのM君が五月末、取材のため来神したとき、私はあちこち歩き

まわった。例の盗作事件も話題にのぼったが、彼の話ではその映画会社から、新聞に連名で和解声明を出そうという申し出があったそうだ。

M君はそのとき、「ふざけるな」と一喝したという。連名の和解声明ではなく、M殿あてに、映画会社の名で「謝罪声明」を出すのが順当である。また、あとである筋から、「あなたの作品を映画化して、原作料をふつう以上にはずむから」という打診もあったらしい。そのときもM君は、

「ふざけるな」と一喝した。

きいているうちに（ええぞ）と私は内心快哉を叫んだ。

奥さんが自動車の運転を習いたいと言い出したときも、M君は「ふざけるな」と一喝した。（ますますええぞ）

ある雑誌から執筆を依頼されたが、その雑誌の表紙が気に入らないので、それも一喝してこわった、という話も出た。

よほど一喝するのが好きな男である。大丈夫たる者は、かくの如く堂々とあらねばならない。私はM君にあやかかって、いつか一喝してやろうと機をうかがっているが、いざとなると、その「一喝」が出てこない。

さて、酒をのむとこの一喝が案外スラスラととび出すのではないかという問題がある。よく気の小さい男が、酒をのむと大胆になって、シラフでは言えないことを口にするのを見かける。だが、酒をのまねば一喝できないというのではいただけくない。それは最低とはいえないにしても、かなり下の部類に属する。

話はあてどもなくさまようが、いま酒のエチケットの問題に逢着しているのである。天衣無縫、傍若無人というのは、このオッチョコチョイのはびこる世の中では、むしろ美德である。けれど、酒をのまねばそんな状態になれないとあれば、おなじみの「酔っ払いのクダマキ」と同じで、感心するにはあたらぬ。

一説によれば、酒は潤滑油で、商取引やなにかの話しあい、酒が出るのとくつろいだ気分になって、お互の気心がわかり、事が順調にはこぶという。しかし、シラフのときに相手の気心がわからない

など、觀察の不足というほかはない。それどころか、私の経験からすれば、酔っ払いは自分をえらそうにみせようとして、虚飾の衣をつけがちなので、本性はかえってかくれる。いってみれば、固苦しいカミシモはぬいだだが、そのかわり五色の紙でつくった空威張りのヨロイを着用するようなもので、ヒラヒラするだけによけい本性が見えにくい。気心がわかるどころではない。そんなところから一喝がとび出しても、ほんとの一喝とはいえない。

美酒を口に含んで、ふだんよりすこし口数が多くなり、窮屈な敬語を省き、そしていくらか脱線する。——この程度が飲酒の理想の境地ではあるまいか。

話のみだれとぶが、私はこよなく神戸を愛し、神戸のことをよく知っているつもりである。それが、東京で同業のK君から満座のなかで恥をかかされた。K君は産業スパイヤルボふうの小説を書きまや流行作家だが、それまでながいあいだトップ屋をやっていた。だから、あらゆる土地の裏まで知っている。そのとき神戸のNという所の話が出た。きつといかがわしい所であろう。私は神戸でもいかがわしい所はあまり知らないのだ。

「あんた、神戸にいるのにNを知らんのですか。もぐりですぜ、こんどぼくが神戸へ行ったら、神戸を案内してあげよう」

私としては、これはたとえようもない屈辱であった。私がおれたのがわかったのか、そのパーのマダムが気の毒に思って。

「陳さんがそんな所ご存知ないのはあたりまえよ。陳さんはお固いんですもの」と弁護してくれた。するとK君は、

「なるほど、チンがかたいのはむかしからきまってるですな」とぬかしやがった。

酒の無礼といえ、これが許容線ギリギリの限度であろう。K君はそこで踏みとどまった。おみごとである。あとは「ここはお国を何百里」などといった歌を、一時間近くもわめきつづけた。

こんなに暑いと、なにかスカーツとするようなことをしてみたいと思う。そこで「一喝する」というのはもってこいである。ただ、くれぐれも酒の力を借りないことだ。哀れを催おすのみであるからやっぱり歌でもうたうが一ばん無難なようだ。

(作家)

まごころこめた贈り物に

70年の伝統の味に新しい味覚をくわえてつくりあげたかずかずの銘菓……。

すばらしい風味と気品のあるデザインはどなたにも喜んでいただけます。


お気づかいの、新しいムーの贈り物に風月堂のお菓子をおえらびください。

 **風月堂**

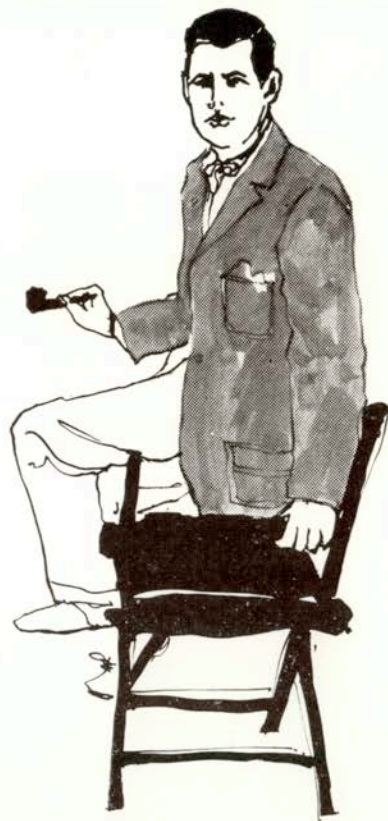
神戸元町三丁目 TEL. ③ 695・696



O-SHIBATA

 **柴田音吉洋服店**

神戸・元町通4丁目 神戸 4-0693
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106



■あまから特集①座談会

故久保佐一・小原健児・仲郷三郎・松村

小琴・小松清・延原句沙弥追善大相撲

神戸酒徒番附

誌上審査会

追善興行としての番附の意義を
深めたい

——灘は、天下の名醸、芳醇の酒が生まれ、神戸っ子だけでなく日本の愛飲家に親しまれていますし、BARは発祥地が神戸ということでもあり、神戸は、辛党のメッカと言っても過言ではないと思います。

その神戸の酒徒に敬意を表して番附を贈り一層の精進をお願いしようということですよ——

A とにかく、我々の仲間として日夜「酒を飲み」「議論」をたたかわれていた、仲間の追善としてこの番付の意味を深めよう。

C そら、えきか、まべ小坂浩
A それに仲郷三郎、女性画家の

あの松村小琴に、延原さんね。
B 経済界では、久保佐一さんも入るでしょうね。惜しい人だな。
D 小原健児さんの追善も含めたいですね。

A そうだな？懐しき人ばかりだし、皆んな生粋の神戸っ子ばかりですねー追善興行といこうー
B それでは番附審査に入るとしてどうでしょう、審査規定はいりますよ。

A そうですね、酒品というか、飲んでいる姿のよさです。これを第一の問題にしたい、いくら飲んでも姿のよくないのは番附としては上位におけない、量は第二、余技も考えたいね。

D 楽しんで飲んでる人がいいですネ。風格がある飲み方というのは確かにある。
A だいたい世間でね、あいつは

▼審査委員

青木重雄

(神戸新聞論説委員調査部長)

及川英雄

(作家)

直木太一郎

(神港倉庫社長)

竹田洋太郎

(神戸新聞論説委員)

▼呼び出し

月刊 神戸っ子

飲むと言うのでおっているのはちよっとくせがあつてネ。
本場に酒を飲むというのは、嘉納治平さんみたいな酒やな、相手が三合飲めば、三合、相手が二升飲めば二升とに、かく堂々たる横綱の風格があるね。

B 若林与左衛門さんも、最初、顔を赤くされるが後はいくら飲まれても変わりませんよ。
D 最初とりあえず、幕内必至という辺を並べましょうか。

C そうしたら、文化人関係からいくとして、私は山本大慈をあげよう、これは強い第一人者やなア。
A それに、姿もいいよ、酒仙みたいなのが吉沢独陽。

C 大物が出るなア(爆笑)
画家で、中西勝、貝原六一、田村孝之介、小磯良平もはいるが、江田誠郎、これは、ごっついで……

D 鴨居君も飲むけど、若いから風格とまではいかんけど、佐藤得郎さんなんかは、なんか、ブワァーといきますな、凄いと思う。

C あれは味のある飲み方や。

A 小松益喜も相当いける、阪本勝なんかも横綱の風格はあったが量が落ちましたね。

C 新谷、松岡なんかはベテラン久本弘一も強い、しかし、何と言っても強さからいけば、まづ奥村隼人やけどな？

B 経済人では松浦卓さん。

D 神戸銀行の西脇さんが一人静かに飲んでますね。

B 花隈の芸妓で上位5人というのがあったんだが、歌丸というのは相当なもんでしたよ。

C そうや、女性なれば園井のぼろ、豪傑やでエ、酔っぱらわれるとかなわんよ。

そうやな、陳舜臣、吉沢独陽

ここらは超弩級やな。

D 陳さんなんかあの小さい体でどこに入るんやろな。

A 香西精さんもいけますね。

C ここら辺で、纏りをつけまし



直木氏

ようや、文化人関係(軟派)を東方、経済人関係を(硬派)は西方と分けましようか。

D 軟派、硬派と二つに分けるのはいいですな。

A 西山竜象と市野弘之が本来なれば三役級は確実やけど、神戸を中心に考えると地の利を得てないが強いのは強い。

C ここらは、横綱級やけどな、新聞人は敬遠しとこうか、代表者



青木氏

として、畑専一郎がはいる。

A 兵庫新聞の木下さんを入れていいね。作家では杜山悠、綾見謙というところやけどな今回は、まだ若いから見送りだな。

C やっぱり「神戸っ子」が選ぶ訳やから、いろんな実績が物を言うからな、年輪ということも考えんならん。

B 硬派ではいろいろおられる訳だろがちよっと判りにくいところがありますのでね。

阪口干雄、滝川勝二、榎並正一、宮地襄二、百崎辰雄さんなんかは上位におさまるでしょうね。

A 県では、寺畑、岡嶋というようなどころは幕内にはいる、田中健一郎さんもいいね。

C 泰野さんも強いし、川鉄代表は佐分利、奥田いうところやろな

A それに宮崎辰雄が上位に入られるでしょう、和洋両刀やからな、古林喜楽は当然、三役入りやが、全然調子のええ飲み方やな、占部勝美が調子を上げていらし

ね。

B 小林芳夫、沖豊治、小野一夫、小野正夫の兄弟もランクされていい人だし、オリエンタルの安部正夫さんも三役格ですよ。

A 医者では、森村、菊地は絶対に入幕の線だな。

C 女性がちよっと少ないようやが誰がおらんかなあ

両横綱の推挙は万場一致張出横綱に東方は、吉沢独陽、西方に古林喜楽

— それでは、相当、人数も揃いましたので、今度いよいよ、本格的に審判の審査に移っていただきましよう—

A 東方は、横綱に山本大慈を推せんしたいね。

C これは強い、文句のないところですよ。

D 正横綱の風格もあって立派なものですよ。張出横綱は、酒仙、吉沢独陽これは当然なところですよ。

A これも万場一致で決定やな、大関は誰れかな。

C 中西勝、現役のチャンピオンや、ちよっと風格という点で……

D 一種の風格はあるし大関として恥づかしくはないでしょうね張出大関は、陳舜臣かな品格は充分ある、大陸の大人ですよ。

C 張出大関をもう一人加えて、実質でいくと奥村隼人。

A この辺には当然はいるね、阪本勝、が張出大関というところだ

D 関脇は津高一、具原六一と並ぶといい格好になる。

A 畑専一郎は小結になるけど実力は上位を倒すだけの力がある。

C 小結で定着というのは難かし

東 神戸酒徒番附 西

殊勲賞 宮地 藤二
技能賞 百崎 辰雄
敢斗賞 田中 健一郎

殊勲賞 中 西 一 勝
技能賞 貝原 六
敢斗賞 坂本 益夫

勝負検査役

西 山 野 山 弥 太郎
砂 桐 山 宗 吉 仁
小 田 村 山 宗 吉 仁
富 田 倉 村 山 宗 吉 仁

取組場所

ムーンライト・中川・
シルバームーン・クラ
ブ阿以子・飛鳥・クラ
ブ寿・クラブ花隈・松
の家・富貴楼・秋穂・
いさ美・北野クラブ

番附審議委員

直木 太一郎
青木 重雄
及川 英雄
竹田 洋太郎

張出小結 百崎辰雄(製菓)
張出小結 覆並正一(ゴム)
張出関脇 滝川勝二(自動車)
張出関脇 花隈歌丸(芸妓)
張出大関 吉田美津枝(美容)
張出大関 若林与左衛門(酒造)
張出横綱 古林喜楽(教授)

横綱 山本大慈(日本画)
大関 中西一勝(洋画)
大関 津高和雄(洋画)
大関 細谷義雄(洋画)
張出横綱 吉沢独陽(詩人)
張出大関 陳舜臣(作家)
張出大関 奥村隼一(洋画)
張出関脇 貝原六人(洋画)
張出関脇 阪本勝(随筆)
張出小結 畑專一郎(新聞)
張出小結 田村孝之介(洋画)

昭和38年

蒙御免

行司

朝川西倉 朝保見 志雲英道 岡田原金 崎中口井 真寛忠次郎 勸進元

宮地 藤二(汽船)
占部 勝美(教授)
沖西 豊治(商事)
香西 精一(精米)
佐分利 輝一(製鉄)
宮崎 辰雄(市助役)
小林 芳夫(証券)
小野 一夫(香料)
寺畑 春雄(開発)
奥野 平七(ゴム)
奥野 平七(製鉄)

朝比奈 隆(音楽)
園井のぼる(洋舞)
西山 龍象(日本画)
白川 渥平(作家)
小磯 良平(洋画)
新谷 秀雄(洋画)
松岡 誠一郎(洋画)
江村 寛司(洋画)
西村 雅司(写真)
佐藤 得郎(洋画)
木下 繁(新聞)

取組場所

ムーンライト・中川・
シルバームーン・クラ
ブ阿以子・飛鳥・クラ
ブ寿・クラブ花隈・松
の家・富貴楼・秋穂・
いさ美・北野クラブ

番附審議委員

直木 太一郎
青木 重雄
及川 英雄
竹田 洋太郎

砂かむり

徳岡 英
竹中 郁
牛尾 吉
木村 栄
次朗

取組場所

くれない・糸平・たこ
のつば・元町菊万・シ
ルバームーン・生一本
・竹葉亭・あぶはち

休場 永井 達七
(新聞)

呼出し 小泉 康夫
晴雨不拘連日
無休相動め申候

いといわれているが、自他ともに強いと認められるのは、細谷義雄田村孝之介の二人はまづ、小結陣の双壁やなあ。

D 前頭筆頭は朝比奈隆、神戸では、一番よく似合うような気がする。

A 石上玄一郎あたりが二枚目かそれに、橋間石を推挙したいね。

C 実力派が出ますな、ここで、白川渥、小磯良平の二人をコンビでランクーましよう。

B 西方では横綱は嘉納治平さんですよ。これは絶対ですよ。

D 古林喜楽さんは横綱たが張出してでしょう、即興歌の楽しさはいけど、ビール党ですからね。

C やっぱ若林与左衛門が大関やな、どうですか。

B 松浦卓さんが大関で、若林与左衛門が張出しの方がいいですよ。滝川勝二さんと安部正夫、榎並、百崎と三役どころで申分ないと思いますよ、花隈歌丸姐さんが張出関脇というところでしょう

D 前頭筆頭は宮地裏二さんかいいてすね、芸の方の腕がプロ級で



及川氏

すから適任ですよ。

C この方の順位も難かしいナ、案外、燈台もと暗しということがあるから危ない、大物と言うシツボがつかまらんから弱い。

D 香西精さんが前頭4枚目ぐらいの辺に先に持っていきましようか、あんまり上位に持っていくと叱られそうやからなあ(笑)

A 見つけた。女性で吉田美津



竹田氏

枝、これはごっついでエ。

C うわあーこれを落したら、注文つけられるで、こら、大関でどうです(爆笑)。こんな凄いのには滅多にないからナ。

A 忘れかつたな、張出大関に推せんして、組替えやな、これは強い、こんなのが出て来るからナ。

三賞は順調にきまる

——いよいよ番組もほとんど出来ましたし、こんどは三賞候補を考えていたきたいんですが。——

A これは面白いよ。

C 技能賞というならば、先づ貝原六一を推すね、坂本益夫これが敢斗賞かな、あの飲めないのに、次から次えと行くところは敢斗賞ものやと思うやがな。

A 技能賞なんかも微妙なところもあるのかいな(笑)つきあいの良いのが敢斗賞というわけになりよるな。

D 殊勲賞は最近特に成績がいいということと、中西勝これはいいでしよう。

A 文句なしやな、あれは、ほん

まに殊勲賞スタイルやな。

B 殊勲賞といえる人といえば、宮地裏二さんやろか、それとも、技能賞の方かな、どちらも上げていいような人ですからね。

技能賞は、手品もプロ並で人気がある百崎辰雄、そうすれば、自然に殊勲賞は宮地さんに落ちつくでしょうね。

A 敢斗賞はどうでしょうね。

B そうなると、飲めなくて頭張る人となると、田中健一郎、この人の酒はいい酒ですし、あまり量はいけないんですがね、つきあいのいい酒ですよ。

D それは言えますね、敢斗賞としては適任ですね、結局、もつと若手の人の登場を願ってもいい訳だけど、どうしても、若い人の酒は、むらがありますからね。

A やはり、酒も年輪を加えないと、自然の風格というのは出ませんわ、量でなく、姿のいい酒に重点をおいていかないと駄目だからね、無茶苦茶になるようでは到底入幕不可能でしょうよ。

——いろいろ最後まで慎重なご審議をいただき有難うございました。また、次回までに、ファンの注文をあつめて、番組審議をやらせていただくことになりました。初の企画ですので多少のご不満の方もいらっしやるとは存じますが次回ももっと充実したものにしたいと思っています——

(編集部)



特選
ハンドバック
専門の店

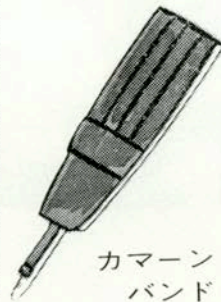
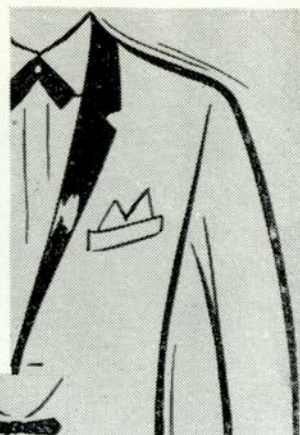
シラサ

元町2丁目・㊟0813

ドレスタイの色々……

コンチネタル
タイ→

ホーウータイ↓



カマーン
バンド

ネクタイの

元町バザー

神戸・元町



輸入婦人服地雑貨の店

アスター・ニュートン

トア・ロード③1818

涼しさを呼ぶ帽子



婦人帽子

マキシフ

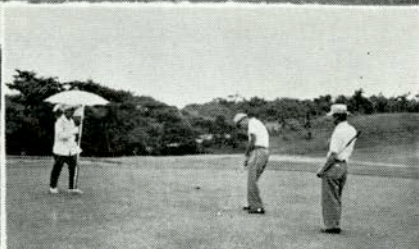
神戸・トアロード
TEL ③ 6711-3

東京・銀座3-2
TEL (535) 5041

神戸っ子

文化人ゴルフクラブ

萬難会誕生！



小磯良平

竹中 郁

白川 渥 森木正一

第一回、万難会メンバー
 推理作家 森木正一
 神戸ドレメ理事 長
 洋画家 福富 震一
 作家 小磯 良平
 白川 渥
 詩人 竹中 郁
 大宝商事代表取締役 中川 成克
 洋画家 石坂 春生
 (写真上、左より)

神戸の代表的な、作家・白川渥
 画家・小磯良平、詩人・竹中郁の
 3氏が中心になって、ゴルフ・ク
 ラブ「万難会」が誕生。第1回目
 の手合せを垂水ゴルフ・クラブで
 行った。

メンバーはいずれも、颯爽とし
 た、「神戸っ子」紳士だけに、こ
 の会の規約も随分と風変わりなも
 ので全会員がこの憲法を著々服よう
 することになった。

「万難会憲法」

第一条 会員は天気晴朗なる日は
 万難を排して参加すること。

とある。これはゴルフの申
 合せとしては当然のマナーだが、
 第二条 コースの前途に万難が横
 たわるほどの腕前たること。

依って、あまりにも上達したる
 時は退会を命じる。

に至っては、まったく珍妙？

万難が横たわるほどの腕前であ
 ることを全メンバーが約束する
 程なんだから、メンバーの腕前
 の程はハッキリしているが、あま
 りにも上達したる時は退会を命じ
 るというのは、いかにも意地の悪
 い憲法。

完全に抜けた馳けの功名に釘をさ
 したものである。

多忙な日程を繰合せてクラブを
 握ろうというメンバーが考え出し
 た、苦肉の策、まったく虚々実々
 の憲法というところ。

しかし、上手になったら会から
 追出されるというのは、どうも氣
 の毒な話。

だが、弱いのが偉い会というの
 は、ちょっと、他ではお目にかか
 れないユニークな会とはなった。



きもの
と細貨

東京	神戶
銀座店	東 西
新橋店	店 店
TEL. (571) 7078	TEL. (3) 0863
小松	TEL. (3) 0863
ストア	TEL. (3) 0863
階	TEL. (3) 0863
(代) 7	TEL. (3) 0863

おんがら庵

オメガシーマスター



防水時計は

美 田 時計店

MOTOMACHI-3
TEL (3) 1798

わんぱく江戸日記

「おカネ」と「ゼニ」

伊達俊太郎



くたばるまで飲まないと眠れない性分だから、どうせロクなことはないが、東京にきてからの二カ月、やたらにゼニがかかって困る。

◇
「さあ、もう帰ろうか」
「そうやなあ……」
「ちよっと早すぎるかな」
「そや」

「そんならもう一軒回ろうか」
「おれ、エエみせ知つとるんや」
神戸で×君なんかと飲んでいたころは、大体、いつもそんなくあいだった。そこで二人は協同出資で勘定をすませると、勇躍、三宮から福原へ、福原からまた三宮へとタクシーを走らせるのが常だった。
ところがである。江戸っ子あいてだと、こうはスマートにいかない。

何ごとも「宵ごしのカネは使わねえ」などと、身分不相応なタンカを切りたがる連中だから、話は面倒だ。こういう手合いが仲間ならオゴられつ放しのこっちはゼニがたまりそうなんだが、実のところ、わが財政は「出超」なのである。

◇
たとえばA君との場合。「帰ろうか」などといいだすうものなら、彼は、ほくがいい終りもせぬまにテーブルの勘定書きをひつたり、肩を怒らしてカウスターの方へ向かう。

——みんなみるがいい。おれはこのビヤホールに二人づれできたが、おカネを払うのはこのおれさまなのである。大ジョッキを六杯、それにチーズだって食べたんだが、おれはいまから全額を単独で支払うのである——
そこまではりっぱだが、やはり、貧乏サラリーマンには荷がかちすぎるポーズ。ゼニがないくせに人にオゴろうとするから、どうしても、表情に無理がのぞく。

——おごって優越感にひたるのがおれの主義であり、趣味でもある。だが、おればかりが払ってこいつに得をさせるのはシャクではないか——
ずるがしこいほくは、彼に背を向けて、さっさと家路をたどろうとする。彼はそうはさせじと必死になって引止める。仕方なくとび込んだ店では、こっちが払わざるをえない。金額が前のビヤホールを上回ると、A君は不服だ。「おれは払い足りないからもう一軒」こんなことをしているうちに東京の夜はふけ、A君は飲みつぶれる酔わないこっちは災難だ。さいごの店で女給がガブ飲みした一杯二百円のジュースまで払われ、A君を車に乗せて家まで運ばされるのがオチである。

◇
ああ、東京で使う「おカネ」はつまらない。神戸で使った「ゼニ」は、実に内容が豊富で、たとえ宵を越しても、最後までさわやかにほくの財布から飛び去っていった。同じ千円札でも大分ねだんがちがう。

海の向うのセンスをみつめて...



創業 60 周年
記念サマーセール

紳士服飾・婦人服飾

セリザワ

紳士服飾 / 大丸前 (3) 3900
婦人服飾 / 大丸前 (3) 1695
婦人服飾 / 三宮センター街 (3) 6114
婦人服飾 / 姫路やまとやしき (3) 1221

海辺の装い

福 富 芳 美



夏、灼熱の太陽を受け、輝やく海にはちぎれるような若さと個性を楽しむ季節になりました。

神戸は舞子、須磨と海を楽しむところが多く海辺の装いは一段と生かされるようです。太陽を浴びて海を楽しむ、夜は水族館、須磨浦公園のそぞろ歩き、ロープウェイで鉢伏山へ、展望台から見る夜景の美しさなど神戸のパカンスは日本一と言えるでしょう。

素敵な神戸の海辺で、夏の一日をあなたの若さと装いで、楽しくすごしていただきたいものです。

町から海へでかける時にはあまり大胆すぎる装いは避けた方がいいのですが、幸いに神戸は山と海にかこまれた町全体が避暑地的な雰囲気を持った町だけにその心使いもなく、軽快な海辺のドレスで街を歩いてもおかしくはないでしょう。

海辺の装いは何にましても明るいデザインと若い自然な楽しい雰囲気を生かしてみたいものです。

夏の太陽に負けない強烈な色、常識的な考えから離れた大げさな色や柄で普段の装いと違った工夫で海辺の解放感を楽しみましょう。

海辺へ歩いていったり、車で行くとき、そんなときはシャツスタイルに裾広がりやストラックスマ、ショート

・パンツもいいものです。アロハとストラックスマの組合せブラウスは好みのプリント模様、無地のものに絵をかけたみる、いたずら書きを試してみる、といったようなものもシャレています。ハワイのゆかたといわれるムームーもやはり楽しい海岸着の一つでしょう。

海辺の装いは機能的にということが一番大切です。そしてまた、ドレスが風をはらんで帆のように広がるというシルエットは見た眼にも爽快です。

職場でも最近ではノースリーブもごく自然に着られるようになっていようです。海岸着も腕の出し方、背中のあき加減、肌の出し方、ネックのカットなどの工夫で厭味の少ないスタイルで楽しんでみてはいかがでしょう。

海辺のドレスのアクセサリはネックレスやブローチで飾りたてる必要はありません。

強い光からあなたの眼を守り、顔にアクセントをつけるサンングラス、日焼をふせいでくれる大きな帽子、焼ける砂の上を歩くための素敵なサンダル、実用的な大きなバスケット、海に必要なもの、一つ一つがアクセサリの楽しい役割を果たしてくれるものです。

最近、水着は水着としてではなくヨット遊び、海から出て来たそのままの格好で海辺を楽しむと言った海岸着に変りつつあるようです。水着のデザインもいろいろと考えられて、背中を思い切り明けた水着、はなやかなプリントの布地、ししゅうしたものや数多く出揃っているようです。また最近ではめざらしくなってきたビキニ・スタイルや、今年は更に新しく大胆なおへその下までしかないような裾広ぎのストラックスマやセーラー型のストラックスマも出初めたようです。

海辺で若さあふれるパカンスを、あなたのセンスで楽しんでいただきたいものです。

(神戸ドレスメーカー女学院長
大丸神戸店顧問デザイナー) 談



夏の
お中元は
神戸の
トップ
ショップで
お選び下さい

洋品雑貨

リリアン

センター街 ㊦ 3251・3567

美しさを創る洋装店

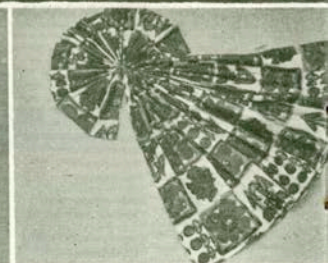
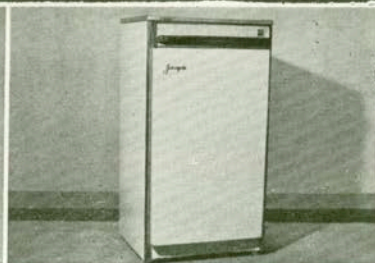
装苑

三宮店・三宮町 ㊦ 2038
六甲店・灘將軍通 ㊦ 1717

紳士洋品の店

サカエ

元町2 ㊦ 5122



紳士シャツ

大和屋シャツ

三宮センター街③6956

あらゆる電器製品の店

元町電機

元町6 ④3701~5

男子洋品の店

フナキヤ

元町3 ③3617

夏の装いのお仕度を
秀品店友の会加盟店

トーレイ洋装店

新聞会館1館 ②2818

お中元に...

海の宝石タサキパールを



関西一のデラックスな真珠専門の店

田崎真珠店

神戸新聞会館秀品店 TEL (22)5646

銀座店 銀座西6丁目
ヒルトン店 赤坂・東京ヒルトン
・ホテル